

(公社) いわき青年会議所 副理事長 意見書

副理事長 蛭田 啓一

1 いわき市が誕生して50年という年月は、社会を大きく変化させ便利をもたらす時代に発
2 展してきました。そこには先輩たちの知恵と情熱、努力があり我々が今ここに存在してい
3 ます。しかし、社会の変貌は著しく今や少子高齢化を起因とする社会問題は絶えません。
4 今後故郷がさらなる成長を遂げていくためには、我々が責任世代としての自覚を持ち将来
5 を見据えて行動し、より良い社会環境を創出して未来に繋いでいかなければなりません。
6 まずは、将来を見据えた運動を展開していくために、地域の現状を把握することが必要で
7 す。そして、数ある問題が地域の将来にどのように影響を与えていくのか予測を立て起因
8 とする問題を見極めることが必要です。必ず到来する難局の時代に対し、いかに対策を講
9 じ向かえるのかを視野に入れ危機感をもって行動し、我々に求められている運動への意義
10 を見出していくとともに、多くの知識を学び得て行動に移していくことが何よりも重要で
11 す。また、震災以前よりもたくましい「いわき」を創造していくために、市民一人ひとりの
12 郷土愛を醸成し、この地にある歴史や文化とその良さを市民に浸透させていく必要があ
13 ります。特に次世代を担う子どもたちは、故郷を誇れるたくましい人財に成長していかな
14 ければなりません。一人ひとりが思いやりを持ち、自信を持っていかなる困難にも耐え抜
15 く力を養う必要があります。さらには、子どもたちが健全な育成がされる環境の創出に地
16 域が一体となり取り組む必要があります。益々と変貌を重ねるこれからの時代に備え対応
17 していくことは我々の責務でありその意識を次世代に継承していかなければなりません。
18 我々青年が、地域の現状を直視して、地域にある様々な問題を理解し関心を示すことが大
19 切です。そして、今ある現状に危機感を持ち、今後起こりうることに予測を立てて備え、
20 行動していくことが、心が通うJC運動によるたくましい「いわき」の創造に繋がります。